

2020 年度前期 授業改善アンケート集計結果に対する意見

—キャリアセンター—

キャリアセンター長 山重 芳子

全学共通教育科目のキャリアセンター開講科目について、授業全体に対する評価である、項目 10「この授業は総合的に判断して自分にとって有意義だった」は 4.60 と高い評価を得ています。これは、昨年度とほぼ同じ水準で、遠隔授業による影響が見受けられません。ただし、今回のアンケートは回答率が 26%と例年より大幅に下がっている点は留意する必要があります。

項目 10 と強い正の相関関係がみられたのは、項目 10「この分野への興味・関心が引き起こされた」、項目 6「この授業のレベルはあなたにとって適切であった」などで、適切に授業が運営されていたと言えるでしょう。

キャリアセンター開講科目の特徴的は、グループワークや外部講師招聘という授業形態にあることが用いられた授業手法に関するアンケート結果から示されています。課題や、質疑応答、ディスカッション、プレゼンテーション、問題解決型授業といった授業手法も高い頻度で実施されており、遠隔授業が実施された前期においても、学生の積極的参加を促す授業が実施されていたことが伺えます。

授業を通じて身についた資質・能力に関するアンケートからは、「この分野の知識、学力」(回答率: 73.9%)の他に「コミュニケーション能力」(71.6%)、「柔軟な発想力」(54.5%)、「協働力」(50.0%)について高い回答率が得られています。キャリアセンター開講科目が多様な資質・能力を育成するきっかけになっていると考えられます。「課題発見力」、「課題解決力」、「人脈形成力」、「統率力」などについても、大学全体と比較して回答率が高く、リーダーシップや行動を促す授業が展開されていると言えるでしょう。

以上